

◆◆◆平成28年度 柏崎市刈羽郡算数部 活動報告◆◆◆

部長 神林 均

□□ 1 はじめに □

柏崎市刈羽郡算数部は、柏崎市及び刈羽村にある小学校及び特別支援学校に勤務・所属する教職員で組織されている。今年度、算数部の部員数は33名である。

柏崎市では小中一貫教育を推進していることから、中学校や中等教育学校と一緒の研修機会があり、互いに情報交換しながら研究を進めている。

□□ 2 活動方針 □□

- (1) 研究テーマを「主体的・協働的な学び（アクティブラーニング）の具現化を目指した算数・数学授業の在り方」とし、これに基づいて授業公開及び協議会を行い、研修を深める。
- (2) 柏崎市立教育センターと連携して研究を推進する。
- (3) 柏崎市立教育センター主催の研修講座へ積極的に参加する。

□□ 3 活動報告 □□□

(1) 授業研究会

- ① 9月16日（金） 柏崎市立比角小学校にて
・公開授業 5年「分数のたし算とひき算」

上記研究テーマに迫る手立てを明確にした授業を提案した。「分母の違う分数のたし算の仕方を考えよう」という目標を設定し、意欲的に学習に取り組む児童が多く見られた。また、「簡単に答えの見当がつきそうな異分母分数の問題を扱う」や「個人→ペア→全体の順で問題解決させる」「ICT機器を活用した思考の可視化」など、学び合いを生む手立てについて、参観者にとって学びのあるものであった。



- ② 11月8日（火） 柏崎市立松浜中学校にて
・公開授業 2年「1次関数の利用」

本時は、「ジグソー法を用いた班活動を通して、面積の変化の様子を表、式、グラフを用いて表現し、問題を解決する」姿をねらった。導入場面では、全体で課題の場面・条件を確認し、その後、生活班で表、式、グラフを手掛かりに、ヒントカードを基にしながら課題に取り組んだ。さらに、同じ手掛かりで課題解決した生徒同士でジグソー班を組み、意見交換を通して理解を深めた。最後に、再び生活班に戻り、面積の変化の様子について理解を深める生徒の姿が見られた。

- ③ 11月30日（水） 柏崎市立第二中学校にて
・公開授業 1年「比例の利用」 2年「図形の性質の調べ方」 3年「図形の面積」

(2) 柏崎市立教育センター研修講座への参加

- ① 「活用事例から学ぶデジタル教科書」 指導者：柏崎市教育委員会 滝澤 豊 様
6月17日（金） 会場：柏崎市立教育センター
- ② 「算数示範授業」（学校研と共催） 指導者：筑波大学附属小学校 山本良和 様
11月29日（火） 会場：柏崎市立枇杷島小学校
- ③ 「算数・数学教材研究」 指導者：柏崎市教育委員会 滝澤 豊 様
1月19日（木） 会場：柏崎市立教育センター

□□ 4 おわりに（成果と課題） □□□□

- (1) 授業研究会に小中学校の教員が参加することによって、授業をとおして算数的・数学的活動の在り方について協議が行われ、互いの参考になった。
- (2) 10年近く続けて行っている示範授業は、学ぶべき点がとても多く、参会者の授業改善につながるものとなっている。
- (3) 授業研究会では、ブロック幹事のサポートを得ることができた。今後も、組織を生かした運営を行っていく。